

1 SDGs (持続可能な開発目標)とは

言葉の意味は？

- SDGsは「Sustainable Development Goals (サステナブル・ディベロップメント・ゴールズ)」という言葉の頭文字をとったもので、「エス・ディー・ジーズ」と読みます。
- サステナブル (Sustainable) は「持続可能な」という単語で、ここでは「将来に向けて、よい状態で、続けることができるような」という意味になります。
- ディベロップメント (Development) は「開発」という単語です。ここでは「ものごとがよい形に広がっていくこと」をイメージするとよいでしょう。
- ゴールズ (Goals) は「目標」という単語です。みんなが知っているゴールと同じ意味です。SDGsには17のゴールが決められているので、ゴールズと複数形になっています。
- これらをあわせて、「将来にわたって、暮らし続けていけるように、世界をよくしていくための目標」という意味になります。

- SDGsは、2015年9月、150をこえる国のリーダーが参加し、ニューヨークの国連本部で開催された「国連持続可能な開発サミット」で、全員の賛成を得て採択されました。
- 法律や規則のように守らなければならないというのではなく、各国が自主的に取りくむことを約束したものです。

だれが、いつ、
どうやって決めたの？



いつまでに
達成するの？

- SDGsは、2030年までに達成することを約束したものです。
- 取りくむ期間は、2016年から2030年までです。



どんな内容から
成り立っているの？

- SDGsは「17の目標」と「169のターゲット」から成り立っています。17の目標（ゴール）それぞれに、いくつかのターゲットがさだめられています。
- ターゲットとは「いつまでに、何を、だれが、どのようにして取りくむのか」という具体的に達成する内容をあらわしたものです。

日本はどんな
取りくみをするの？

- 日本政府は2016年に「持続可能な開発目標 (SDGs) 推進本部」を設置しました。
- 日本は先進国の立場として途上国を支援し、また、貧困、格差、教育、子どもへの暴力など、日本国内の問題に取りくみます。SDGsは途上国だけでなく、先進国もふくむ世界全体の目標です。日本でも達成されていない項目があります。



[写真上] ゴミの中から使える物をさがす少年(フィリピン)



[写真右] 通学する少女(ケニア)